

## 修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 情報システム学研究科 社会知能情報学専攻 博士前期課程		
氏 名	橋口 大右	学籍番号	0751022
論 文 題 目	株式指標とインターネット株式掲示板の投稿内容との関連性に関する研究 ～投稿内容によるリスクファクターの構築～		
要 旨	<p>本研究では、Yahoo!株式掲示板の投稿により構築した掲示板リスクファクターを用い、新たな株式リスクモデルの構築を目指す。先行研究により、掲示板投稿数ではリターンの予測が難しい事、投稿内容がリターンを予測する可能性がある事、投稿数と投稿内容がリスクを予測する可能性が示唆されている。しかし一方、米国における先行研究で掲示板の投稿数により作成したリスクファクターNoise minus Quiet(NMQ)がリスクモデル内でリターンを予測するという矛盾した結果が示唆されている。本研究では、リターンとの関連性が示唆されている投稿内容によりファクターの作成を行う。そのために日本の Yahoo!株式掲示板の取得可能な東証一部上場銘柄約1390社の掲示板に対して、2003/01/01から2007/12/31までの分析可能な1200万件の投稿を取得することで、自然言語処理と機会学習により投稿内容分析を行い、独自に掲示板投稿内容ファクターBull minus Bear(BMB)を作成する。BMB は投稿内容分析により最も強気な掲示板であると判断されるポートフォリオのリターンから、最も強気でないと判断されたポートフォリオのリターンの差として定義される。この新たなファクターに対してCapital Asset Pricing Model(CAPM)を拡張し、統計的手法によりその有効性について議論する。また、先行研究で示された投稿数ファクターNMQの有効性についても同様に検証する。その結果、日本において先行研究の結果を否定し投稿数ファクターNMQが機能しない事、投稿内容ファクターBMB がCAPM 内で機能する可能性を示唆した。特に掲示板の投稿内容が強気に偏っているポートフォリオに対して掲示板投稿内容ファクターBMB モデルは高い説明力をもつ。この結果より日本市場において投稿数がリターンを予測する可能性が低い事、投稿内容(強気指数) がリターンを予測する可能性を示唆した。人々がどの株に注目しているか(投稿数)よりも人々がその株に対して何と言っているか(投稿内容)の方がリターンを算出する上で重要である可能性がある。また、人々はリスクの高い銘柄に投稿する傾向にあり、人々はリスクの高い銘柄に対して強気の発言をしている事も判明した。</p>		